

施策	6102 特色ある農林業の展開						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	農林業者						
施策が目指す姿	農産物のブランド化の推進、作付面積の拡大、グリーンツーリズム事業の推進、安全・安心な農産物の販売、PR、農産物直売施設等の機能充実、水資源の涵養につながる森林保全や間伐等森林整備の推進、里山林の整備・利活用の推進等を図る。						
成果指標	ブランド農産物（野菜・果樹）認定後の作付拡大面積（単位：ha） ...平成29年度目標値10ha（現状値0ha） 市内農産物直売所14店の売上額（単位：千円）...平成29年度目標値4億円（現状値3.8億円）						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ha]	予定	0.00	2.00	5.00	7.00	10.00
		実績	0.00	24.72	70.26	56.00	
	成果指標2 [千円]	予定	330,000.00	350,000.00	370,000.00	390,000.00	400,000.00
		実績	350,000.00	765,000.00	782,000.00	792,688.00	
		単位コスト	1.11	1.36	0.26	0.30	
	成果指標3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 []	予定					
実績							
単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定	427,505	239,846	209,980	762,788		
	実績	389,025	1,039,196	202,788	236,649	0	
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標「認定農業者数」の確保のためには、農業経営をサポートし、農家所得の向上に繋がる魅力ある施策が必要とされるため、本単位施策による貢献度は高い。					
	達成状況	ブランド農産物の作付面積については、一部の農産品を除き、増えてきている。直売所における売上額も順調に伸び、目標指標を達成している状況にある。					
	課題	農業生産者の高齢化や担い手不足による作付面積が減少しないように新たな担い手を確保していく。					
	取組方針	ブランド農産物を中心とした、生産者の利益に直結する高付加価値化された農産物の作付を推奨するとともに、販売先の強化・確保及び販促PRに対する支援策を打ち出していく。					
外 部 評 価	成果指標については、いずれも大きく目標を達成しており評価できるが、指標や目標値の妥当性も検討する必要があると思慮される。検討の上、次期計画に反映されたい。 農産物のブランド力強化に併せて、六次産業の推進は不可欠だと思われるが、それを進める事務事業も見当たらず、取組みが進んでいるとは言いがたいと感じる。農商の連携も、若い世代へのアプローチに積極的に取組まれることを期待したい。また、市が六次産業化の推進に積極的に取組むのであれば、各種経済団体等との連携を図り、時限的でも専門部署を立ち上げて集中的に取組むことが有効だと考える。具体的な取組み策を検討し、次の評価の方針で示されたい。 U I J ターンによる若者の新規就農者の活躍が見られるようになってきた。移住定住施策と連動した取組みや新たな支援も検討されたい。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	323201	とちぎアグリフェスタ負担金				3,250	100
	323301	首都圏農業確立対策補助事業費				63,764	100
	323501	農村女性活動活性化事業費				1,630	100
	323504	農村女性活動活性化事業費（都賀）				750	100
	325302	産業祭開催事業費				4,600	100
	325401	地域農産物活用補助事業費				3,500	100
	336101	都市農村交流事業費				5,365	100
	336406	市民農園運営助成金（岩舟）				750	100
	337601	木とのふれあい体験事業費（栃木）				2,554	100
337605	木とのふれあい体験事業委託費（西方）				900	100	

施策	6102 特色ある農林業の展開			
	事業コード	名 称	トータルコスト(千円)	達成度
	337606	木とのふれあい体験事業委託費(岩舟)	1,600	100
	337901	間伐支援事業費(栃木)	2,035	100
	338101	明るく安全な里山林整備事業費(栃木)	725	100
	338102	明るく安全な里山林整備事業費(大平)	950	100
	338103	明るく安全な里山林整備事業費(藤岡)	425	100
	338104	明るく安全な里山林整備事業費(都賀)	8,494	100
	338105	明るく安全な里山林整備事業費(西方)	1,767	100
	338106	明るく安全な里山林整備事業費(岩舟)	1,225	100
	338201	森を育む人づくり事業交付金	751	100
	338206	森を育む人づくり事業交付金(岩舟)	1,425	100
	338806	有害鳥獣対策事業費(岩舟)	3,000	100
	350503	環境保全型農業直接支援対策交付金(藤岡)	1,638	100
	350506	環境保全型農業直接支援対策交付金(岩舟)	4,047	100
	353701	農産物PR事業費	2,982	100
	716002	ふるさと田園風景百選魅力向上支援事業費補助金(大平)	400	100
	324103	藤岡農産加工センター管理運営費	6,275	1
	325702	大平西地区農産加工所管理運営費	3,263	1
	325802	大平農村婦人の家管理運営費	2,761	1
	333304	都賀土地改良区運営補助金	1,500	1
	335304	市単独土地改良事業補助金(都賀)	1,500	1
	336203	わたらせふれあい農園管理運営費	6,711	1
	336506	農村公園管理費(岩舟)	1,113	1
	337101	林業総務事務費(栃木)	4,158	1
	337102	林業総務事務費(大平)	3,202	1
	337104	林業総務事務費(都賀)	750	1
	337201	治山林道管理費(栃木)	5,950	1
	337202	治山林道管理費(大平)	11,777	1
	337205	治山林道管理費(西方)	4,563	1
	337206	治山林道管理費(岩舟)	2,639	1
	337401	松くい虫防除委託事業費(栃木)	1,503	1
	337402	松くい虫防除委託事業費(大平)	3,075	1
	337406	松くい虫防除委託事業費(岩舟)	0	1
	337701	出流ふれあいの森施設管理費	6,743	1
	337801	出流ふれあいの森管理運営委託費	8,411	1
	338504	臼久保地区緑地保全用地管理費	841	1
	338704	生出宿里の駅施設管理費	1,580	1
	338904	つがの里周辺森林管理事業費	750	1
	353205	西方農産物加工所管理運営費	3,196	1
	353305	真名子農産物加工所管理運営費	893	1
	353405	西方農村婦人の家管理運営費	1,630	1
	354006	岩舟町ふるさとセンター管理運営費	5,920	1
	354106	むらづくり施設管理運営委託事業費	23,010	1
	718103	道の駅みかも管理運営委託事業費	4,408	1
	311103	道の駅みかも管理運営費	0	0
	311903	道の駅みかも施設整備事業費	0	0
	324304	都賀いちごフェスティバル補助金	0	0
	324404	J Aしもつけ都賀園芸部会連絡協議会補助金	0	0
	354206	農産物安全安心応援支援事業費	0	0
	735601	林業・木材産業構造改革事業費	0	0

平成28年度

単位 施策評価表 補表

施策	6102 特色ある農林業の展開		
区分	妥当性	妥当	栃木市らしさを農産品で推進することは、農産品のブランドのPRが不可欠であり、事業実施することは重要である
	コスト削減の余地	有	補助金に頼らない、農業支援を検討
	受益者負担	適正	販売農家に対する補助で、定額支援のため農家負担を求めている
	上位貢献度	有効	担い手確保をすることが、農業を衰退させない課題であり、「栃木市農業ビジョン」を推進するため上位施策は有効である
	類似事業の有無	無	類似事業はない
	成果向上の余地	有	地域農業者の担い手に対する支援を充実させる
内部評価	貢献度		
	達成状況		
	課題		
	取組方針		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	060103	予算事業コード	325401	事業区分	02	行政的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	地域農産物活用補助事業費										主	6102	農林業の振興		特色ある農林業の展開	
担当部課 係・担当チーム名	産業振興部 農業振興課 振興係						担当者	石塚 健太		従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市農業振興補助金交付要綱				事業期間	H23 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	40,447		千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 直売所連絡協議会を運営し、意欲ある農産物生産者を支援し作付け面積の拡大を図る。また、地元農産物の安全安心を周知するための活動を支援する。 【主要事務】							達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 販売農産物の品目の拡大。							
								成果 施策目標	ブランド農産物(野菜・果樹)認定後の作付拡大面積(単位:ha) ...平成29年度目標値10ha(現状値0ha) 市内農産物直売所14店の売上額(単位:千円)...平成29年度目標値4億円(現状値3.8億円)							

単位:千円、人		平成27年度決算額	平成28年度決算見込	事業の内容		その成果		平成27年度		平成28年度		事業の事後評価						
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	【事業内容】 直売所連絡協議会を運営し、安全安心を消費者にPRすると共に、農産物等の生産拡大により販売額増加を図るため、地域農産物活用事業を実施した。 【成果】 ・対象直売所数 13件 ・市内会員数 1,040人 ・補助金額 2,150,000円 直売所が実施する事業に対し補助	【事業内容】 直売所連絡協議会を運営し、安全安心を消費者にPRすると共に、農産物等の生産拡大により販売額増加を図るため、地域農産物活用事業を実施した。 【成果】 ・対象直売所数 13件 ・市内会員数 981人 ・補助金額 2,000,000円 直売所が実施する事業に対し補助					妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
	県支出金		0	0														
	地方債		0	0							妥当	無	適正	有効	無	有		
	その他特財		0	0														
	一般財源		2,150	2,000														
	事業費 a		2,150	2,000														
	人件費 b		1,500	1,500														
減価償却費 c		0	0															
総事業費 a+b+c		3,650	3,500	指標名	算出方法	単位												
結果指標 1		1,040.00	981.00	直売所会員数	H28目標値 700人	人												
結果指標 2		1.00	1.00	作付面積の拡大	H28目標値 1ha	ha												

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 直売所連絡協議会を運営し、直売所間の連携体制の構築及び生産・販売を促進し、地産地消の推進を図った。															
--------	-------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考																
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--